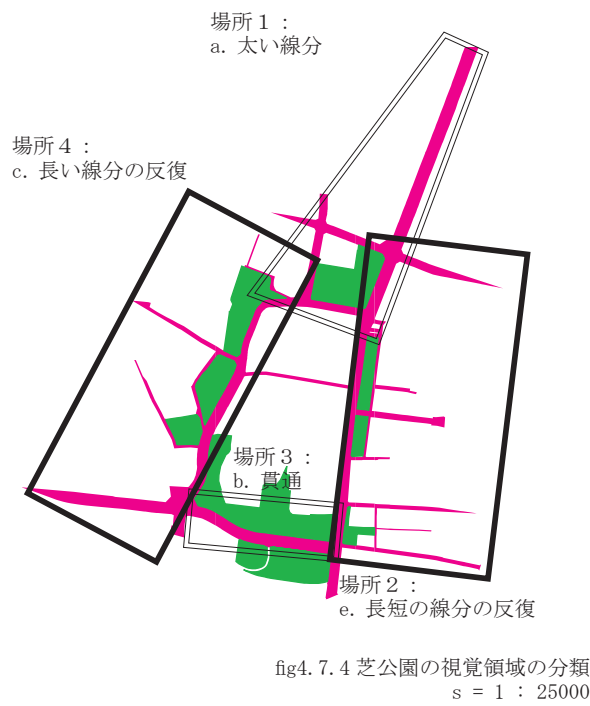


小括

芝公園の視覚領域の境界をまとめると以下ようになる。

場所	視覚領域の類型	江戸期の土地利用	視覚領域の境界
1	a. 太い線分	寺社、武家地	なし
2	e. 長短の線分の反復	寺社	江戸期からある道での街路パターンの変化
3	b. 貫通	寺社	街路パターンの変化（河川）
4	c. 長い線分の反復	寺社	街路パターンの変化（地形）

fig. 4. 7. 2
芝公園の視覚領域の境界一覧



公園が環状になり、幹線道路が貫通することで視覚領域は広がっている。

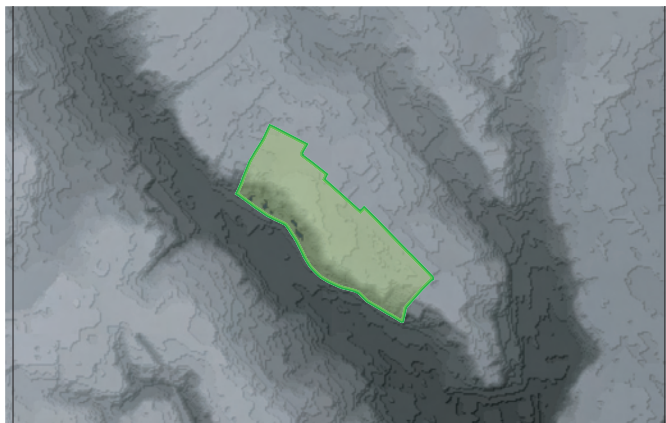


fig4. 8. 1 小石川植物園と地形
1 : 25000



4. 8 小石川植物園

■地形との関係

公園は周りを谷に囲まれた小さな丘の斜面に位置しており、尾根から谷までを占めている。

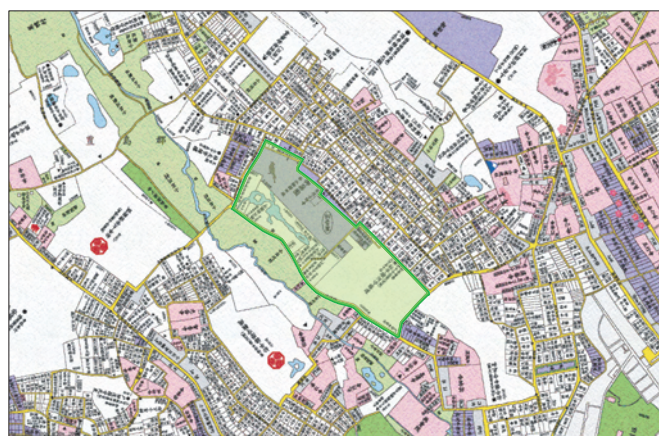


fig4. 8. 2 江戸時代の小石川植物園周辺
1 : 25000



■江戸時代の小石川植物園周辺

徳川幕府が作った「小石川御薬園」がある。北側は台地の上ということで武家屋敷が並んでおり、現在の街路パターンがほぼできている。南側は低地であるため宅地化されていない。

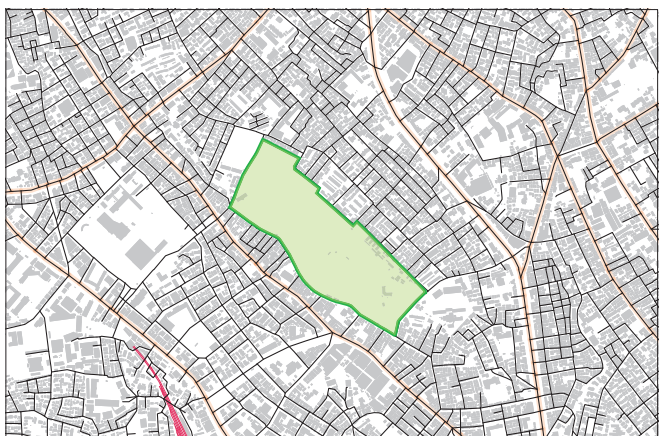


fig4. 8. 3 現在の小石川植物園周辺
1 : 25000



■現在の小石川植物園周辺

南側の谷地が宅地化され、木造密集市街地となっている。さらに幹線道路が谷の底に通された。後の場所は江戸時代の土地利用パターンを引き継いでいる。

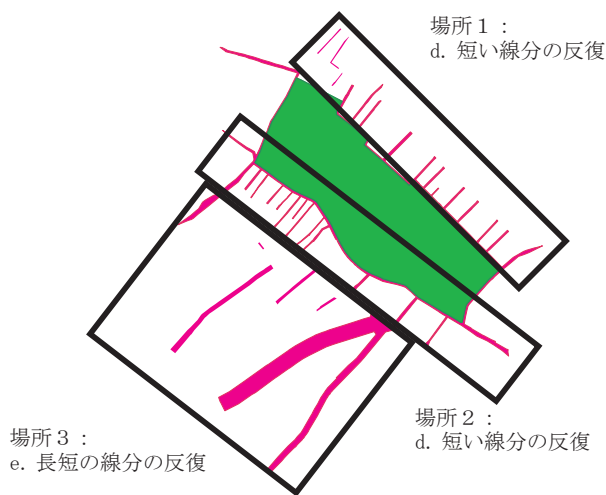


fig4. 8. 4 小石川植物園の視覚領域の分類
s = 1 : 25000

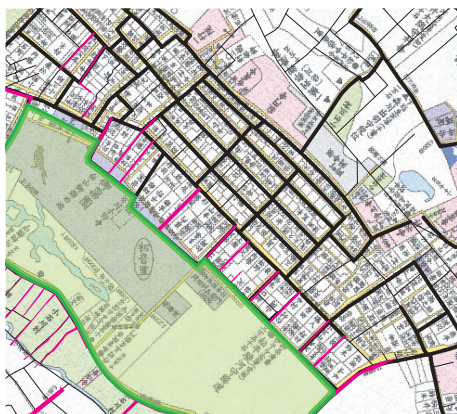


fig4. 8. 5 江戸期と視覚領域
s = 1 : 15000

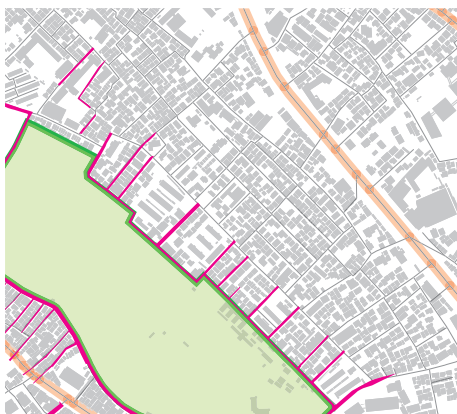


fig4. 8. 6 現在と視覚領域
s = 1 : 15000



fig4. 8. 7
公園へ向かう道路からの
緑の見え



fig4. 8. 8
公園に面した道路

■視覚領域の類型

小石川植物園の視覚領域は、右図のように分けられる。

場所1：d. 短い線分の反復

場所2：d. 短い線分の反復

場所3：e. 長短の線分の反復

○場所1：d. 短い線分の反復

分析A

江戸期からある尾根道での街路パターンの切り替わり

現在の街路パターンは江戸期にほぼできており、尾根道によって道がT字路となって食い違い、視覚領域が途切れている。

分析B

公園：堀

周辺：住宅地

公園と周辺環境との繋がりは見られない。

fig4. 8. 9
江戸期と視覚領域
1 : 15000

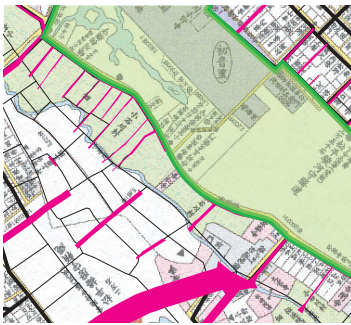


fig4. 8. 10
現在と視覚領域
1 : 15000



fig4. 8. 11
公園に向かう道路からの
緑の見え

fig4. 8. 12
公園に面した道路



fig4. 8. 13 道路の幅
1 : 15000

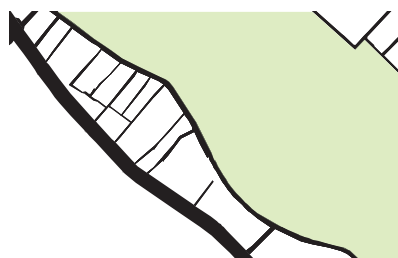


fig4. 8. 14
江戸期と視覚領域
1 : 15000

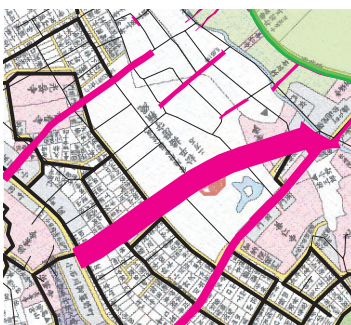


fig4. 8. 15
現在と視覚領域
1 : 15000



fig4. 8. 16
地形と視覚領域
1 : 15000



○場所 2 : d. 短い線分の反復

分析 A

江戸時代の谷道による街路パターンの切り替わり

現在の街路パターンは江戸期にほぼできており、尾根道によって道がT字路となって食い違い、視覚領域が途切れている。

分析 B

公園：塀

周辺：幅の広い道路

繋がりは見られないが、公園に面した道路の幅員が周辺の道路より広がっていて、空間に広がりがある。

○場所 3 : d. 短い線分の反復

分析 A

江戸時代の尾根道での街路パターンの切り替わり

丘になっているため、建物の背後に公園の緑が見える。視覚領域は、丘を登りきったところに江戸時代からある尾根道で途切れる。建物の背景に緑が広がりを持って見える。

分析 B

公園と面していない。

公園とは隣接していないため繋がりは見られない。



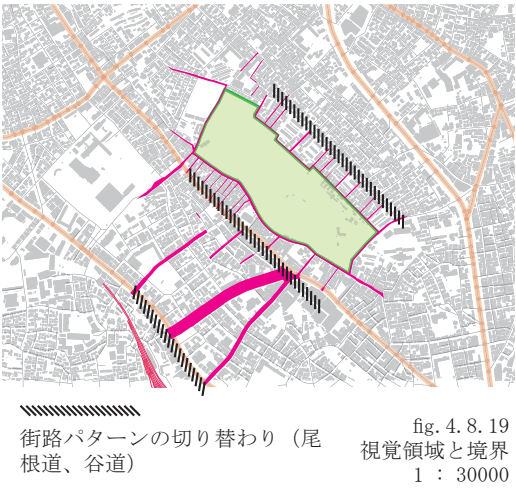
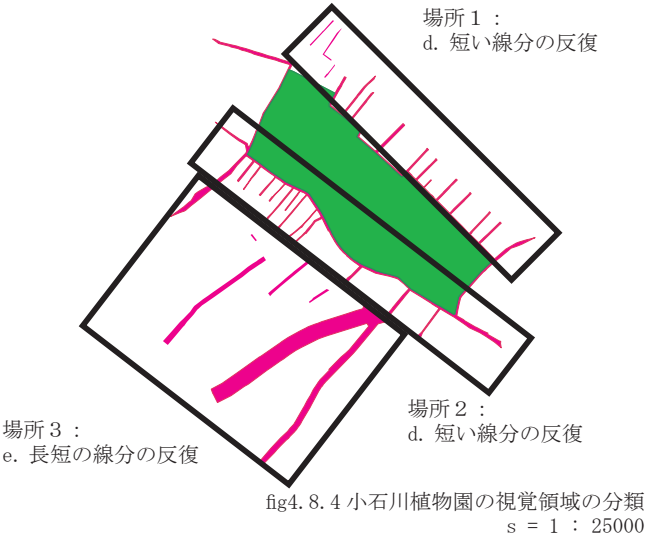
fig4. 8. 17
播磨坂からの
公園の緑の見え

小括

芝公園の視覚領域の境界をまとめると以下ようになる。

場所	視覚領域の類型	江戸期の土地利用	視覚領域の境界
1	d. 短い線分の反復	武家地 短冊状街路パターン	街路パターンの変化 (尾根道)
2	d. 短い線分の反復	百姓地	街路パターンの変化 (谷道)
3	e. 長短の線分の反復	武家地	街路パターンの変化 (尾根道)

fig. 4. 8. 18
小石川植物園の
視覚領域の境界一覧



尾根道、谷道により街路パターンが途切れているが、公園の近くの建物が低層であることから谷越しに向かい合う丘から公園が良く見える。その風景は、今回調査した公園の緑の見えるなかでも、最も良いと思ったもののひとつである。